平成26年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月29日

上場会社名　　株式会社　スクロール　　上場取引所　東
コード番号　　8005　　ＵＲＬ　http://www.scroll.jp/
代表者　　（役職名）取締役社長　　（氏名）堀田　守
問合せ先責任者　（役職名）経営統括部経営企画課長　　（氏名）山下　政彦　　ＴＥＬ　053-464-1114

四半期報告書提出予定日　　平成25年11月12日　　配当支払開始予定日　平成25年11月29日
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　有　　（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第２四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第２四半期	33,087	8.7	971	△13.0	1,238	△5.0	611	△24.1
25年３月期第２四半期	30,428	4.4	1,116	△26.8	1,303	△24.4	805	△19.0

（注）包括利益　26年３月期第２四半期　550百万円（△19.2%）　25年３月期第２四半期　681百万円（△33.3%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第２四半期	18.46	―
25年３月期第２四半期	24.34	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第２四半期	34,425	23,385	67.8
25年３月期	33,779	22,990	68.0

（参考）自己資本　26年３月期第２四半期　23,356百万円　25年３月期　22,982百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	―	5.00	―	5.00	10.00
26年３月期	―	5.00			
26年３月期（予想）			―	5.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	4.5	△300	―	0	―	500	92.0	15.11

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無
　　新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	無
②　①以外の会計方針の変更	：	無
③　会計上の見積りの変更	：	無
④　修正再表示	：	無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期２Ｑ	34,320,650株	25年３月期	34,320,650株
②　期末自己株式数	26年３月期２Ｑ	1,202,940株	25年３月期	1,231,617株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期２Ｑ	33,094,946株	25年３月期２Ｑ	33,089,377株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

　この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

　本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、〔添付資料〕３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

　当社は平成25年10月30日(水)に機関投資家及び証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する四半期決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
（４）追加情報 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済対策や金融政策への期待感から円安や株高が進行し、輸出関連企業を中心に業績回復の兆しが見られたものの、欧州における政府債務危機の長期化や新興国における景気減速などの影響から、依然として先行き不透明な状況が続いています。

小売業界におきましては、一部で高額商品への消費改善の動きが見られたものの、所得環境の改善の遅れや消費税増税に対する先行き不安などから、引き続き厳しい経営環境が続いています。通信販売業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末の普及を背景にＥＣ市場が拡大するなか、大手の経営統合が行われるなど企業間競争は厳しさを増しています。

このような事業環境のなか、当社グループは、顧客獲得のための先行投資に重点をおいた中期経営計画「Scroll Renovation 2015」をスタートさせ、当連結会計年度におきましては、「販売促進活動を中心とした大型先行投資の実施」を基本方針とし、事業基盤を強化するとともに新たな顧客づくりのための施策に取り組んでおります。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高33,087百万円（前年同四半期比8.7％増）となりました。利益面におきましては、営業利益971百万円（同13.0％減）、経常利益1,238百万円（同5.0％減）、四半期純利益611百万円（同24.1％減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

第１四半期連結会計期間より、前連結会計年度まで「金融事業」としていた報告セグメントを、重要性がなくなったことにより、「その他」として表示しております。詳細は、「３．四半期連結財務諸表（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」をご参照ください。

なお、セグメント別の売上高は連結相殺消去後、セグメント利益は連結相殺消去前の数値を記載しております。

① 通販アパレル事業

通販アパレル事業におきましては、前連結会計年度に引き続きＦ１層をターゲットとした『ＲＡＰＴＹ』のブランド力の再強化を推進するとともに、シニア向けカタログ『Ｂｒｉｌｌａｇｅ』の新規顧客の開拓に注力してまいりました。生協販売におきましては、新たな看板商品の開発を推進する一方、ジャカルタ事務所開設により商品調達ルートの多様化を図るなど原価率の改善に向けた事業基盤の整備に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は13,096百万円（前年同四半期比4.8％増）となり、セグメント利益は792百万円（同15.1％増）となりました。

② 通販インナー事業

通販インナー事業におきましては、実需期に合わせたインターネット限定商品の販売や着用シーンに合わせた機能性商材の提案企画の展開など季節商品の拡充に努めてまいりました。生協販売におきましては、ブランド商品の品揃えの拡充に努めるとともに、日本製商品など付加価値の高い新たな主力商品の開発に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は5,239百万円（同4.1％増）となり、セグメント利益は279百万円（同13.1％減）となりました。

③ 通販ＬＦ事業

通販ＬＦ事業におきましては、有名タレントとのコラボレーション企画を積極的に推進するなど付加価値のあるインテリア商材の開発に取り組むほか、高級ブランドバッグ等のＥＣサイト『ＡＸＥＳ』において、積極的に海外からの商品調達を行うことで楽天市場やＡｍａｚｏｎなどのＥＣモールにおける販売の拡大に取り組んでまいりました。生協販売におきましては、お客様の声を反映した服飾雑貨商材の企画やエイジレス商品の品揃えを拡充するなど、商品力の強化に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は7,554百万円（同11.6％増）となり、セグメント利益は306百万円（同16.9％増）となりました。

④ 通販Ｈ＆Ｂ事業

通販Ｈ＆Ｂ事業におきましては、プライベートブランド化粧品専門通販サイト『豆腐の盛田屋』において、新たな戦略商品を開発するとともに、プライベートブランド健康食品専門通販サイト『北海道アンソロポロジー』において、看板商品のリニューアルに取り組むなど、下期から行う本格的な先行投資の準備を着実に実施してまいりました。また、ナショナルブランド化粧品専門通販サイト『コスメランド』において、ＥＣモールでのイベント販売を強化するとともに、オフィシャルサイトにてシーズンやお客様のライフスタイルにあわせた特集コンテンツの提供を開始するなどサービスの拡充に取り組んでまいりました。一方、ＥＣ事業の更なる強化・拡大を目指し、コスメ・美容器具等のＥＣサイト『きれいみつけた』の運営をはじめとしたインターネットに特化したビジネスを行う株式会社スクロールＲ＆Ｄを平成25年７月１日付で設立しました。

以上の結果、売上高は4,300百万円（同34.2%増）となり、セグメント損失は146百万円（前年同四半期はセグメント利益23百万円）となりました。

⑤ ソリューション事業

ソリューション事業におきましては、売上拡大に向け新規受託の獲得を目指すとともに、サービスレベルの更なる向上のため、通販システムパッケージのリニューアルや、物流をはじめとしたフルフィルメント基盤の強化に努めて参りました。また、後払い決済サービスを推進するため、平成25年６月６日付をもって当社連結子会社のスクロール３６０が、後払い決済サービスを提供する株式会社キャッチボールの株式の51%を取得し、当社の連結子会社といたしました。

以上の結果、売上高は2,848百万円（前年同四半期比1.3%増）となり、セグメント利益は53百万円（同53.5%減）となりました。

⑥ その他

その他事業である金融事業におきましては、保有債権の回収に専念しております。

以上の結果、営業収益は47百万円（同57.7%減）となり、セグメント利益は67百万円（同90.3%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末の総資産は34,425百万円となり、前連結会計年度末に比べ645百万円増加しました。これは主に流動資産におけるたな卸資産の増加によるものであります。

（負債）

負債は11,039百万円となり、前連結会計年度末に比べ250百万円増加しました。これは主に未払法人税等の増加によるものであります。

（純資産）

純資産合計は23,385百万円となり、前連結会計年度末に比べ395百万円増加し、自己資本比率は67.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は2,027百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,231百万円増加いたしました。当第２四半期連結累計期間における活動ごとのキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,426百万円の収入（前年同四半期は1,739百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上、営業債権の回収などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、145百万円の支出（前年同四半期は621百万円の支出）となりました。これは主に、無形固定資産の取得などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、52百万円の支出（前年同四半期は1,317百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払などによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成25年４月26日に公表しました通期の業績予想を修正いたしました。なお、詳細につきましては、本日（平成25年10月29日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

（信託型従業員持株インセンティブ・プラン）

当社は、平成25年６月13日開催の取締役会において、当社グループ従業員に対する当社グループの中長期的な企業価値向上へのインセンティブ付与、福利厚生の充実及び株主としての資本参加による従業員の勤労意欲高揚を通じた当社グループの恒常的な発展を促すことを目的として、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」（以下、「本プラン」といいます。）の導入を決議いたしました。

本プランでは、今後約３年にわたり「スクロール従業員持株会」（以下、「本持株会」といいます。）が取得する見込みの当社株式を、「スクロール従業員持株会専用信託口」（以下、「信託口」といいます。）が予め一括して取得し、本持株会の株式取得に際して当社株式を売却していきます。

当該自己株式の取得・処分に関する会計処理については、当社と信託口は一体であるとする会計処理を行っており、信託口が所有する当社株式を含む資産及び負債、収益及び費用については、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書に含めて計上しております。

なお、平成25年９月30日現在において信託口が所有する自己株式数は606,400株であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	795	2,032
売掛金	11,904	10,641
たな卸資産	4,670	5,541
その他	2,812	2,300
貸倒引当金	△144	△141
流動資産合計	20,038	20,375
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,737	4,573
土地	4,745	4,717
その他（純額）	1,153	1,123
有形固定資産合計	10,636	10,414
無形固定資産	644	876
投資その他の資産		
その他	2,922	3,235
貸倒引当金	△463	△476
投資その他の資産合計	2,459	2,758
固定資産合計	13,740	14,049
資産合計	33,779	34,425
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,425	2,231
短期借入金	100	100
未払金	3,813	3,582
未払法人税等	40	417
引当金	292	338
その他	725	886
流動負債合計	7,397	7,555
固定負債		
長期借入金	2,375	2,481
退職給付引当金	517	544
その他の引当金	334	309
その他	164	149
固定負債合計	3,390	3,483
負債合計	10,788	11,039

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,812	5,812
資本剰余金	7,222	7,213
利益剰余金	9,807	10,253
自己株式	△698	△681
株主資本合計	22,144	22,597
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	632	668
繰延ヘッジ損益	202	81
為替換算調整勘定	3	9
その他の包括利益累計額合計	838	758
少数株主持分	8	29
純資産合計	22,990	23,385
負債純資産合計	33,779	34,425

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	30,428	33,087
売上原価	18,331	20,443
売上総利益	12,097	12,644
販売費及び一般管理費	10,980	11,672
営業利益	1,116	971
営業外収益		
受取利息	14	11
受取配当金	18	19
不動産賃貸料	36	31
為替差益	43	－
受取補償金	－	100
その他	92	137
営業外収益合計	205	299
営業外費用		
支払利息	3	8
不動産賃貸費用	8	7
為替差損	－	0
その他	6	15
営業外費用合計	18	33
経常利益	1,303	1,238
特別利益		
固定資産売却益	37	－
投資有価証券売却益	－	1
特別利益合計	37	1
特別損失		
減損損失	－	37
関係会社株式売却損	17	－
その他	1	2
特別損失合計	19	40
税金等調整前四半期純利益	1,321	1,199
法人税、住民税及び事業税	561	462
法人税等調整額	△45	106
法人税等合計	516	569
少数株主損益調整前四半期純利益	805	630
少数株主利益	－	19
四半期純利益	805	611

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	805	630
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54	35
繰延ヘッジ損益	△68	△121
為替換算調整勘定	△0	6
その他の包括利益合計	△124	△79
四半期包括利益	681	550
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	681	531
少数株主に係る四半期包括利益	－	19

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,321	1,199
減価償却費	261	230
減損損失	－	37
のれん償却額	122	138
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△91	△28
退職給付引当金の増減額（△は減少）	28	27
その他の引当金の増減額（△は減少）	16	17
受取利息及び受取配当金	△32	△31
資金原価及び支払利息	9	8
関係会社株式売却損益（△は益）	17	－
固定資産除売却損益（△は益）	△37	2
営業債権の増減額（△は増加）	791	1,311
たな卸資産の増減額（△は増加）	△613	△869
その他の流動資産の増減額（△は増加）	24	△296
仕入債務の増減額（△は減少）	△402	△180
未払債務の増減額（△は減少）	1,338	△287
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△127	△46
その他	△113	△6
小計	2,513	1,225
利息及び配当金の受取額	31	31
利息の支払額	△6	△9
法人税等の支払額	△814	△42
法人税等の還付額	15	221
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,739	1,426
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△478	△49
有形固定資産の売却による収入	65	28
無形固定資産の取得による支出	△125	△211
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△108	△27
その他	25	114
投資活動によるキャッシュ・フロー	△621	△145
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△49	－
長期借入れによる収入	－	163
長期借入金の返済による支出	△1,100	△57
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△165	△164
その他	△2	5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,317	△52
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	3
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△199	1,231
現金及び現金同等物の期首残高	1,747	795
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,548	2,027

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

セグメント情報

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	通販アパレル事業	通販インナー事業	通販ＬＦ事業	通販Ｈ＆Ｂ事業	ソリューション事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	12,497	5,030	6,771	3,204	2,812	30,316	111	30,428	―	30,428
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	0	134	134	0	135	△135	―
計	12,497	5,030	6,771	3,204	2,947	30,451	111	30,563	△135	30,428
セグメント利益	688	321	261	23	114	1,409	35	1,444	△141	1,303

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融事業を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△82百万円及び投資不動産の内部取引利益△58百万円が含まれております。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	通販アパレル事業	通販インナー事業	通販ＬＦ事業	通販Ｈ＆Ｂ事業	ソリューション事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	13,096	5,239	7,554	4,300	2,848	33,039	47	33,087	―	33,087
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	0	1	461	463	0	463	△463	―
計	13,096	5,239	7,554	4,301	3,310	33,503	47	33,550	△463	33,087
セグメント利益又は損失（△）	792	279	306	△146	53	1,283	67	1,350	△112	1,238

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融事業を含んでおります。
２．セグメント利益又は損失（△）の調整額には、セグメント間取引消去△33百万円及び投資不動産の内部取引利益△78百万円が含まれております。
３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

第１四半期連結会計期間より、前連結会計年度まで「金融事業」としていた報告セグメントを、重要性がなくなったことにより、「その他」として表示しております。

前第２四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要事項はありません。